



はあと保育園

南側外観。「はあと保育園」は、近年整備された新山口駅駅前にある住宅地の一角に計画された。建物は鉄筋コンクリート造の2階建てで、東側は近隣公園と園庭が隣り合うように配置されている。(撮影：北嶋俊治)



西側外観。(撮影：北嶋俊治)

選評

はあと保育園は、写真や図面の資料だけでなく、その魅力がすべて伝わらない。だが、園児がいる平日の午後に訪れると、周辺環境を理解しながら、実際にその空間を体験することで、説得力のあるデザインだと確信できる建築だった。現場に身を置くことで発見することが多く、「建築」ならではの現地審査の重要性を改めて痛感させる作品である。

敷地は新幹線の新山口駅前の新しく開発された場所であり、周囲は近年、多くのマンションが建設され、若年の家族が急増する。また敷地の西側は道路、東側は円形の公園に向き合う。前面の道路に対しては折り曲げたエキスパンドメタルが覆う自由曲線の開口をいっばいに取る一方、商業施設が存在する北側は閉じる。そして東側は園庭を設け、公園との連続性を生み出すだけでなく、屋上庭園の存在や遊具のような地形的な建築を目指したデザインによって、

公園の性格を保育園側に増幅しつつ引き込む。まだ歴史がないエリアでありながら、巧みに街の文脈を読み取り、また新しく文脈をつくる建築と言える。

なお、隣には、地元の山口において福祉関係の施設を多く運営する青藍会による八階建てのハートホーム新山口が建つ。当初、建築主は敷地にもうひとつの高齢者施設を建てる計画だったが、新しい街の動向と望まれる需要を見据えて、保育園に変更した。その結果、子どもと高齢者が交流できるプログラムになっており、両施設はピオトープや食事サービスを共有する。青藍会は、プロポーザルコンペによって、はあと保育園の設計者を選定し、一緒に類似施設を見学しながら、イメージを共有していったという。

建物は鉄筋コンクリートの二階建てに抑え、階高も約二・七八メートル、天井高二・二メートルとし、親密な空間をつくり出す。また厚さ三五〇ミリ

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計・施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2015年で56回を数えます。

< 2015年 第56回 BCS賞受賞作品 >

あべのハルカス 大阪木材仲買会館 北九州市立戸畑図書館 サイエンスヒルズこまつ JPTタワー 静岡清水水文化会館 マリナート 資生堂銀座ビル Junko Fukutake Hall 鈴木大拙館 ダイビル本館・中之島 四季の丘 はあと保育園 明治大学創立130周年記念和泉図書館 ROKI Global Innovation Center -ROGIC- [特別賞] 上州富岡駅



建築主

5歳までのしつけや環境が、人生を決める より ～ジェームズ・ヘックマン～

原題のように新園舎企画目標を次の3項目といたしました。

1. 子育て…自然(太陽・水・風・緑)の恩恵の下、建物を遊具として友達と安全・安心の下での楽しい時間をもち成長できること。
2. 子育て…保護者が短時間で子どもの成長を確認でき、親として成長できること。
3. 地域との共生…立体的な小山のような建物とし、保護者と共に多様な人がこの建物・子どもの成長に関わることで地域全体

の活性化に寄与できること。

現在、乳幼児期の子ども達は1階の園庭～2階のウッドデッキ～屋上デッキと連続する空間を船・動物に見立て仲間との遊び道具として使いこなしつつ、人生の様々な局面で自ら行動を起こし、タスクを継続する能力を、次世代に向かって自然や友達と共にたくましく遊びながら醸成しています。そしてそれを支えることのできる幸せを痛感しております。



社会福祉法人 青藍会
副理事長
阿武幸美
Yukimi Anno

設計者

より

ランドスケープアーキテクチャをめざして

はあと保育園は、私たちの設計の基本に一貫して流れるコンセプト「ランドスケープアーキテクチャ」を具現化したものです。それは、建築を取り巻く自然的環境、人工的環境に呼応し、地形の様に柔軟で包摂的で季節に感応するデザインを目指すものです。

この建築の設計では、ポイドスラブ方式の床板(天井も形成)を壁柱で支持することで自由な使い方を可能にし、上下階の関

係が密接になるように最小の階高を可能にしました。また、建物全体を覆う金網(アルミ被覆鉄網)の外皮に保育室に対する日除け、園児の転落防止、植栽の支えなどの多くの機能を担わせています。

発注者の青藍会様は建築の経済性だけではなく、良質な建築環境がいかに利用者の満足とスタッフのやる気に繋がるかを知り抜いておられます。非常に素晴らしい協働体勢が取れ、建築家冥利に尽きます。



株式会社アブルデザイン
ワークショップ
代表取締役所長
大野秀敏
Hidetoshi Ohno

施工者

建築主と設計者の想いを より 「実労働150日」でカタチにする

はあと保育園の敷地は間口が狭く奥行きが深い「うなぎの寝床」であり、間口いっぱいの建物形状となっています。「実労働150日」で完成させるポイントを園庭(中庭)への動線確保と捉え、園庭から揚重作業やコンクリート打設を行えるよう、ギャラリ階段部分を工事用通路として使用しながら基礎を施工する仮設計画としました。建築主と設計者は全国の類似施設を一緒

に見学してイメージを共有されており、設計に対して強い想いをお持ちでしたが、施工サイドの意見にも耳を傾けていただき、たいへん感謝しています。

私ども安藤ハザマは合併し新会社となった1年目の施工作品において、栄えあるBCS賞を受賞できたことをたいへん嬉しく思っています。



株式会社 安藤・間
広島支店
リニューアル部長(現職)
作業所長(当時)
青木 茂
Shigeru Aoki



2階外部通路。ウッドデッキにガラスの庇が架けられている。縁側のようなこの半屋外空間は、夏の日射しと雨を遮るとともに園庭と繋がる広場として園児たちの遊び場になっている。



上/2階テラス。階段で屋上へ繋がる。
下/2階創作活動室。

けの薄いポイドスラブで梁型を露出させない。訪問したのは雨の日だが、縁側的な空間、室内でも遊べる居場所、あるいはちょっとした隠れ場所のような空間がちりばめられている。一方、大人の視点からは、室内全体を簡単に見渡すことができる。晴れの日には、子どもが屋上のウッドデッキから園庭まで、建物全体を駆けまわるといふ。空間全体として子どもを意識した絶妙な小さいスケール感が効いている。造園は、各季節で花や実がなるよう植生を選び、一年を通じて楽しめるよう配慮された。また直方

体のフレームは金網をはめ、壁面緑化を行う。なお、安藤・間広島支店は東側からの搬入が難しいため、工区を二つに分けて施工を行い、工夫しながら七カ月という短い工期の建設を実現した。青藍会には高い理念を持って施設を運営し、はあと保育園は、一階の公園側の端部に子育て支援センターを設け、地域貢献にも寄与する。したがって、建築主、設計者、施工者が協力してつくり上げた、BCS賞にふさわしい建築である。

【選考委員】
五十嵐太郎・栗生明・山本嘉彦

計画概要

建築主：社会福祉法人 青藍会

設計者：(株)アブルデザイン
ワークショップ

施工者：(株)安藤・間

所在地：山口県山口市小郡平成町1-20
竣工日：平成26年3月15日

敷地面積：1,864.24㎡
建築面積：807.59㎡
延床面積：1,315.63㎡

階数：地上2階
構造：鉄筋コンクリート造(球体ポイドスラブ工法 EIFS JAPAN) 一部鉄骨造